

平成29年度 企画政策部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
国内では、高齢社会と「人口減少が急速に進行しており、各自治体とその課題克服に向けた取り組みが求められる中であって、各部政策推進室との政策調整を行い各部署が一体となった統一的意思形成を図るとともに、総合政策機能を活かしたまちづくりを進める。 市民の意見や提言を市政に反映し、市政に対する市民満足度を向上できるよう広報・広聴機能の充実に努める。	1. 次期総合計画の策定	・現行「まちづくりプラン」の計画期間がH31までとなっていることから、次期総合計画(基本構想、まちづくりプラン)をH29～H31にかけて策定する必要がある。	・H29は、現計画の総括、基礎調査、市民ニーズの把握を行う。	・委託業者と契約締結し、業務計画に基づき、業務着手した。 ・総合計画の根拠条例となる「京田辺市総合計画条例」を制定した。	A	
	2. ツアー・オブ・ジャパンの開催	・本市南部地域の活性化に寄与することから招致した国際的な自転車レース「ツアー・オブ・ジャパン」を成功裏に終える。	・京都府主導の下、関係機関、地元と協議調整を行いレース実施に向けた体制準備を整える。	・京都府・精華町をはじめ、関係機関や地元住民の協力のもと、5月22日にツアー・オブ・ジャパン京都ステージを開催した。	A	
	3. まちづくりプラン(重点プロジェクト)、地方創生総合戦略の推進	・「まちづくりプラン(重点プロジェクト)」及び「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく諸施策を推進し、今後予想される人口減少と少子高齢化に対応する。	・国の地方創生関連の交付金の活用や重点事業の進行管理により、諸施策を推進する。	・夏期にサマーレビューを実施し、まちづくりプラン(重点プロジェクト)を着実かつ計画的に実行するため、課題整理・検討を行った。 ・市内の企業支援や文化振興、お茶の京都関連事業など、地方創生推進交付金の採択を受けた事業について、それぞれの実施計画に基づく取組を実施し、総合戦略を推進した。	A	

平成29年度 企画政策部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4. 市政情報の積極的な発信	<ul style="list-style-type: none"> ・広報等を通じ、市の施策について積極的に提供することで、市の将来展望を市民と共有していく。 ・まちの魅力を発信することで、市民のまちへの愛着やまちづくりへの意識、市民としての誇りと一体感を向上させる。 ・市制20周年を市全体で盛り上げるよう気運を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙及びSNSの活用(Twitter、Facebook)によりリアルタイムに情報を発信する。 ・記者會及び他のメディアへの情報提供を行う。 ・20周年記念事業の実施及び情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Facebookによる情報発信505件 ・いいね！1,618件 ・記者會への情報提供422件 ・一日市長体験事業と事後広報(広報紙・体験レポート展示・動画放映など)の実施 ・その他20周年記念事業への広報協力(ハンドボールパネル展・のど自慢取材同行・敬老会配布冊子作成など) 	A	